

団体紹介

いちのせき市民活動センター「情報誌『idea』2026年2月号」掲載

社会福祉法人つくし会

昭和51年11月5日設立認可。昭和52年4月に「特別養護老人ホーム関生園」を開設し、以後、各種高齢者福祉サービスを展開。現在は11の事業で、地域の福祉向上に努めている。役員は理事6名（うち理事長1名）、評議員7名、監事2名。職員は230名。

住所：一関市滝沢字寺下2-1（本部／明生園内）
TEL：0191-23-0478
FAX：0191-23-0260

写真：職員が生涯学習として調べているメダカについて、利用者に講義をする様子。



常に「努力」「向上心」を胸に

※1「つくし」の花言葉

ミッション追及のためのフィロソフィー

「個人の尊厳を保持しつつ、地域社会において自立した生活を営む」ことができるよう、多様で総合的な福祉サービスで高齢者の福祉事業を行う社会福祉法人つくし会。「ともに幸せを」の理念とともに、「地域貢献を忘れない」「強烈な願望を心に抱く」「次元の高い目標を持つ」「誰にも負けない努力をする」「常に創造的な仕事を行う」「思いやりの心で誠実に」「人生・仕事の結果Ⅱ考え方×熱意×能力」等、11項目のフィロソフィー（経営哲学）を掲げています。

現理事長の熊谷茂さんは、大学卒業後、同法人が運営する特別養護老人ホームに就職。約20年間生活指導員として従事し、平成23年、理事長に就任します。同会の目的を追求すべく経営の勉強をする中で、京セラ株式会社の「アメーバ経営」に注目。京セラの職員から1年半にわたる直接指導（平成24

社会福祉法人つくし会

年8月）を受け、職員一人一人が経営者的な視点を持つて事業に向き合う体制を築きました。

熊谷さんは「当時も今も、社会福祉法人では珍しい取り組みであると思います。福祉事業で利益追求をすべきでないという固定観念を取り払いたかった」と振り返り、「利益の追求は、職員の待遇改善につながり、それが利用者の幸せにもつながる。利用者第一主義ではなく、職員第一主義にすることが、『ともに幸せを』の理念に通じる」と続けます。

※2 組織をアメーバと呼ばれる独立採算で運営する小集団に分け、その小集団にリーダーを任命し、共同経営のような形で会社を経営する仕組み。同法人では各事業所単位で目標管理と採算管理を行い、毎月リーダーが収支報告を行うことで、透明性と主体性を高めている。

海外から学んだ「職員主義」への転換

「職員を大切にすることが、利用者や地域への貢献につながる」という考えのもと、同法人は仕事と家庭を両立できる環境の構築を模索し続けています。きっかけと

創設理念を守りながら福祉業界の未来へ挑戦

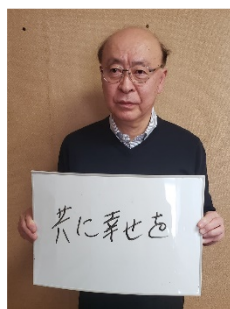
同法人では、「地域公益活動委員会」を法人内に組織し、認知症カフェの開催、就労準備ボランティア事業など、様々な地域貢献事業を実施しているほか、一関市社会福祉協議会と連携し、生活困窮者支援（食料、ガス・電気）が止まった人への緊急的なつなぎ支援、公共交通を利用できない人への交通支援など）も行ってきました。

また、情報発信にも力を入れており、ホームページでは法人概要や地域貢献活動の取組・成果などを詳細に載せているほか、外部メディアに掲載された記事も積極的に発信。各事業所には広報委員会が設置され、施設毎に広報誌を作成すると、利用者の家族が施設での様子を知ることができるよう、ホームページで随時公開しています。

「職員が一日の大半を過ごす職場の環境を変えるのは経営者。離職率も減り、『働くならつくし会で』という嬉しい声もいただけるようになった」と、改革の成果は着実に表れています。

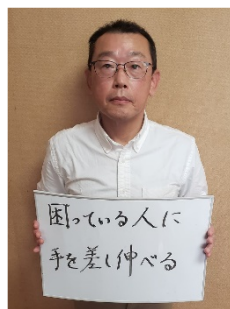
Q.活動におけるこだわり、モットーは？

理事長



A. 共に幸せを

理事



A. 困っている人に手を差し伸べる

くまがい しげる
熊谷 茂さん

東北福祉大学を卒業し、その後は福祉業界一筋。福祉業界全体の改革を目指し、毎年、福祉事業者向けの研修（海外視察含む）を企画。講演依頼にも対応します。

おのでら さとし
小野寺 敏さん

運転手から始まり、相談員や介護支援専門員など各種現場を経験後、前施設長退任に伴い、令和5年から関生園施設長として利用者・職員に寄り添います。

※3 子育て支援に取り組む企業が、「次世代育成支援対策推進法」に基づく行動計画を策定し、その行動計画に定めた目標を達成するなど、一定の要件を満たした場合に取得できるもの。

- Photo

gallery -



3つの特養老人ホーム
関生園・明生園・真生園の3施設。そのほかに、デイサービスセンターやグループホームなど、11事業を展開中。



くるみんプラス認定
令和7年、不妊治療と仕事の両立に積極的に取り組んだことで、「くるみん認定」にプラス認定を付加されました。



働き方改革アワード
『いわて働き方改革AWARD2023』で、優秀賞を受賞。岩手県知事より表彰をいただきました。



デンマークで職員研修
北欧の福祉施設視察研修には、県内外の福祉事業所から毎年約20名が参加。熊谷さんが企画・呼びかけ・引率をしています。